



HELM

SUSPENSION FORK

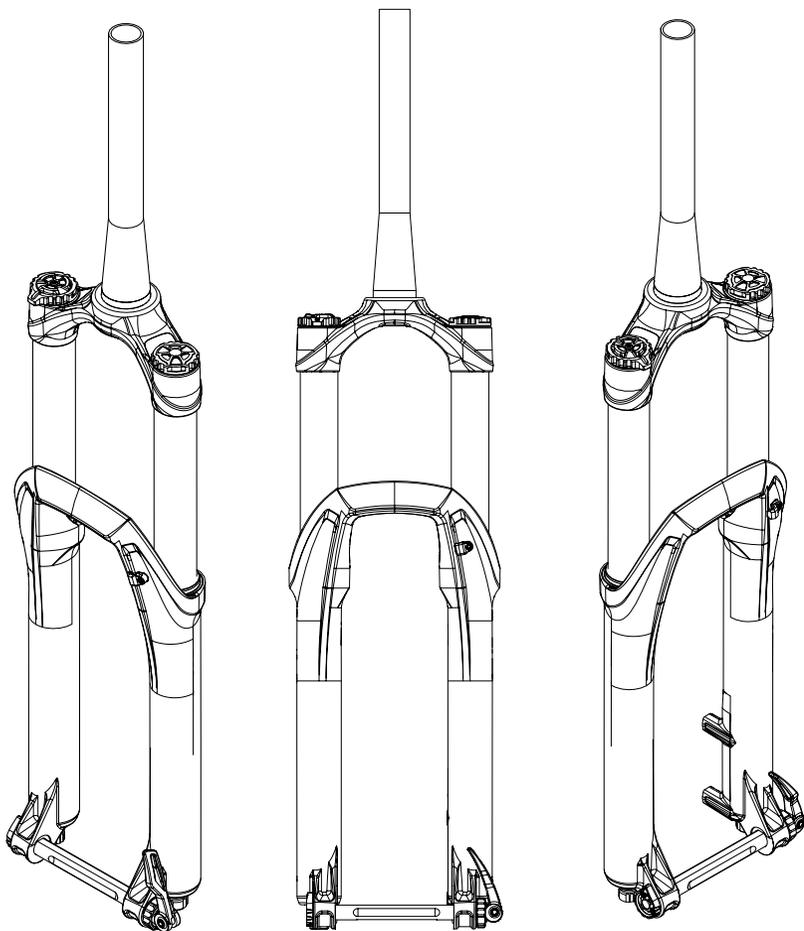
INSTRUCTION MANUAL



Cane Creek Cycling Components
355 Cane Creek Rd
Fletcher North Carolina 28732

1.800.234.2725
canecreek.com
info@canecreek.com

EVERY RIDE IS DIFFERENT



- 04 安全に関する注意事項
- 05 必要な工具
- 06 フォークの特徴と概要
- 07 クラウンレースの取り付け
- 08 ステアチューブの切断とスターナットの取り付け
- 09 ステムの取り付けとヘッドセットのプリロード
- 10 フロントブレーキとケーブルガイドスクリュー/カバーの取り付け
- 11 D-Loc アクスルの取り付け
- 13 エアスプリング
- 16 エアボリュームの調整
- 18 ダンパーの調整
- 20 トラベルの内部調整
- 25 サービスと整備の頻度
- 26 保証に関して

安全に関する警告

このフォークは、自転車の重要な部品です。
新しいフロントフォークの取り付けや使用前にこの取扱説明書をよく読み、フォークを正しく取り付け、調整してください

警告

フォークの不適切な取り付けおよびまたは調整を行うと、重大な怪我や死亡が発生する恐れがあり、またお使いの自転車が著しく損傷することがあります。

警告

損傷または故障したフォークにより、自転車が操作不能に陥り、**重大な怪我や死亡が発生することがあります。**

フォークからオイルやエアが漏れる、または異音がある場合は、直ちに使用を止め、Cane Creek 認定サスペンションサービスセンターにて検査を受けるか、ダイアテックお客様相談室までご連絡ください。

警告

改造、不適切な整備または社外品の取り付けを行うと、この保証は無効となり、またフォークが故障して自転車が操作不能に陥り、**重大な怪我や死亡が発生することがあります。**自転車のフレームやフォークを改造しないでください。



必要な工具



Cane Creek Helm 純正部品のみをお使いください。

サービス/整備の推奨事項に従ってください。
フォークのサービスは、Cane Creek Cycling ComponentsまたはCane Creek 認定サスペンションサービスセンターが行うものとします。
サイト(www.canecreek.com)を確認するか、800-234-2725までお電話いただき、Cane Creek 認定サスペンションサービスセンターの場所をお尋ねください。

Cane Creek 部品の取り付けには、専用工具が必要になります。Cane Creek 部品の取り付けは、認定自転車メカニックが行うことを強く推奨します。

取り付けに必要な工具:

- ステアチューブ切断用のノコギリ
- クラウンレース取り付け工具(推奨:Cane Creek 部品番号 HST005)
- スターナット取り付け工具(推奨:Cane Creek 部品番号 .TL 1100 および .TL1102)
- 2.5mm 六角レンチ

整備に必要な工具:

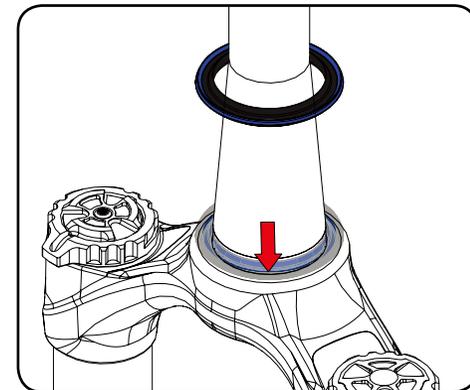
- 2.5mm 六角レンチ
- 13mm レンチ
- 18mm レンチ
- 22mm レンチ
- 30mm レンチ



ハブの幅	Boost 規格	110mm	
ブレーキの 取り付け規格	ポストマウント	180mm ローター	200mm ローターには アダプタが必要
タイヤクリアランス	最大タイヤサイズ	最大幅は65mm、最大径は714mm。警告: リムとタイヤの幅は多種多様であることから、走行前に必ずタイヤクリアランスを確認してください。フォークのエアを抜いて完全にストロークさせ、タイヤのあらゆる面からクラウンまでに最低10mmのクリアランスがあることを確認してください。	
エア圧	最低 = 30psi	最高 = 150psi	推奨サグ値 15-25%
コンプレッション	ロースピード(低速)側	20	クリック
コンプレッション	ハイスピード(高速)側	10	クリック
リバウンド	ロースピード(低速)側	15	クリック
エアボリュームの変更	溝付き	8	ポジション
トラベルの変更	溝付きシステム	10mmのリデューサー	最大7個まで (100mm トラベル)

クラウンレースの取り付け

ヘッドセットを自転車のフレームに取り付けたら、ヘッドセットの取扱説明書に従ってヘッドセットに付属のクラウンレースをフォークに取り付けてください。



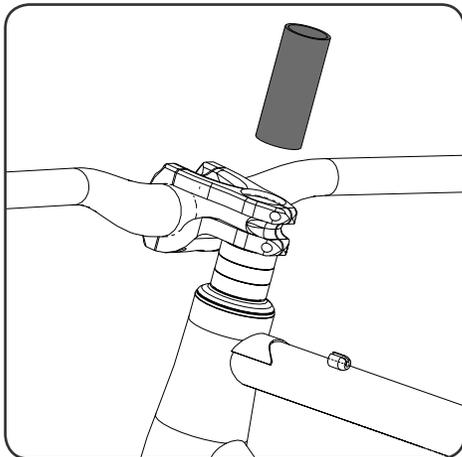


ステアチューブの切断:

ステムの取扱説明書に従ってステアチューブの長さを2回測定し、切断してください。

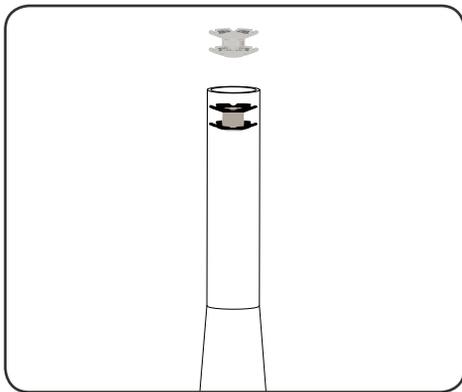
▲警告:

ステムの下に30mm以上のスペーサーを取り付けないでください。



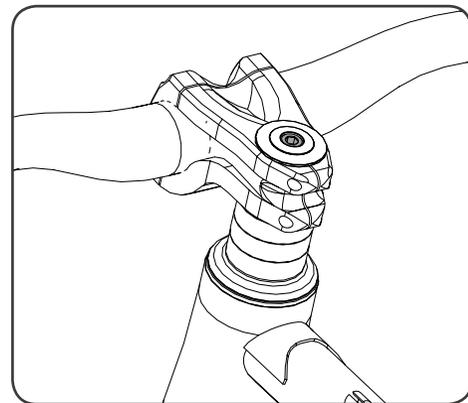
スターナットの取り付け:

スターナット取り付け工具を用いて、ステアチューブ上端から15mmの深さにスターナットを取り付けてください。



ステムの取り付けと ヘッドセットのプリロード:

フォークをフレームに、ステムをステアチューブに取り付けてください。ヘッドセットとステムの説明書に従って、それぞれを締め付けてください。



フロントブレーキとケーブルガイドの取り付け

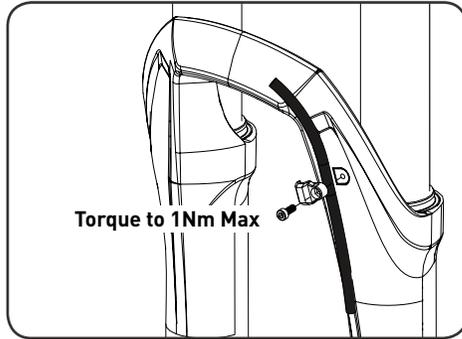
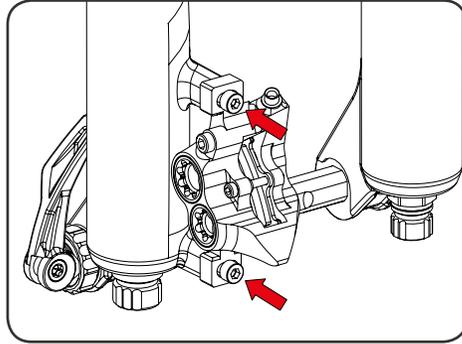


フロントブレーキとケーブルガイド スクリュー/カバーの取り付け:

ブレーキの取扱説明書に従って、キャリパーを取り付けてください。フロントディスクブレーキのホースまたはケーブルハウジングをハウジングガイドに通してフォークのロワーレグ内側に取り付けてください。

⚠ 警告

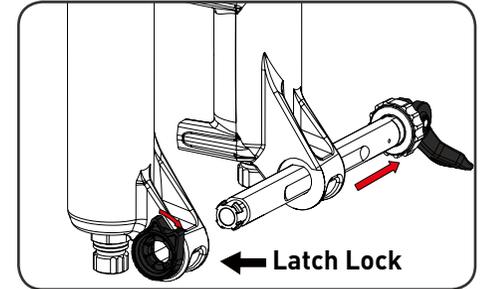
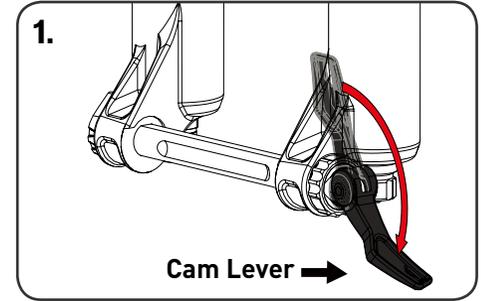
すべてのボルトを規定のトルク値で締め付け、フォークが完全に沈み込んだ時あるいは伸びきった時に、その動作が不適切な組み立てにより妨げられていないことを確認してください。



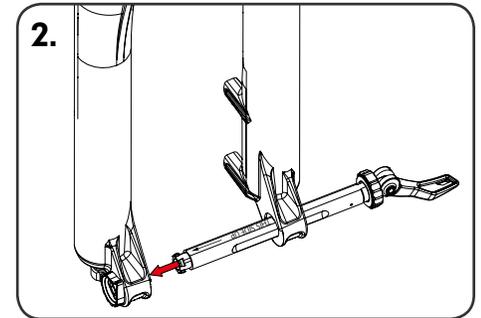
D-Loc アクスルの取り付け



1. D-LOC アクスルのカムレバーを開き、アクスルのロックラッチを『解除』位置に動かしてフォークから引き抜いてください。



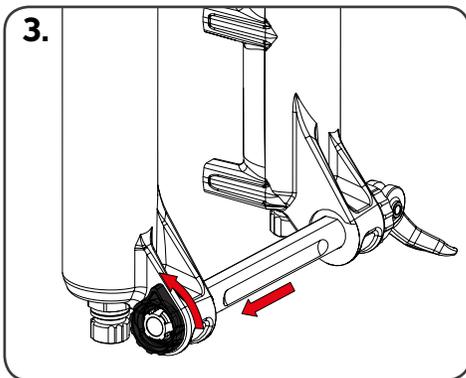
2. フロントホイールをドロップアウトに取り付け、D-LOCの『THIS SIDE UP』の文字をヘッドチューブ側に向けてドロップアウトに挿入してください。
焼き付き防止剤やグリスをアクスルのシャフトに塗布し、アクスルの機能を長く保ってください。



D-Loc アクスルの取り付け



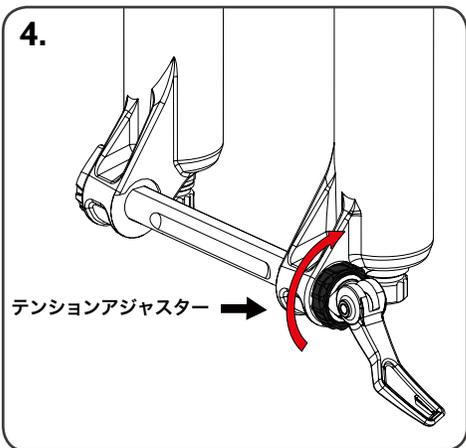
3.D-LOC アクスルのロックラッチをロックしてください。



3.テンションアジャスターでアクスルの締め付け強さを調整し、レバーを閉めてホイールの取り付けを完了させてください。

▲ 警告

アクスルの不適切な締め付け、レバーの不完全な固定または上向き以外の固定により、アクスルが外れて重大な怪我や死亡につながる可能性があります。



エアスプリングの設定

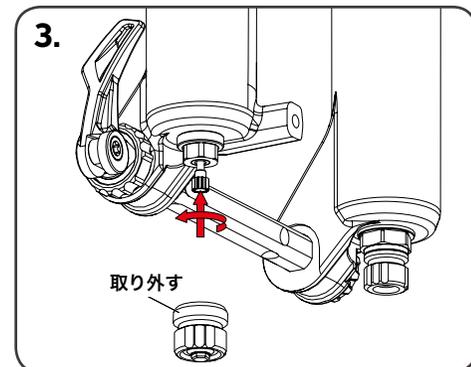
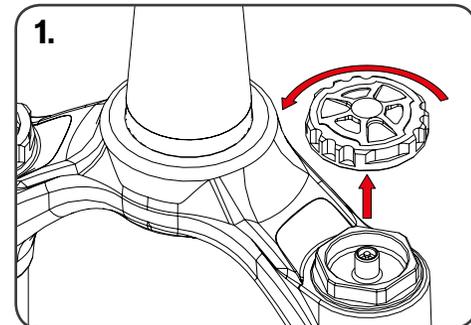


サグの設定は、自転車の最低地上高やヘッドアングルに影響を及ぼすため重要です。以下の手順にしっかりと従ってください。

1.エアトップキャップを外してエアバルブが見えるようにし、専用のショックポンプを取り付けてください。

2.まず、体重(ポンド)の半分の値のエア(psi)をフォークのポジティブ側エアチャンバーに充填してください。
例えば、体重が150ポンドであれば、まず75psiを充填し、そこから必要に応じて調整します。

3.ロワーレグのキャップを外して、ネガティブ側エアチャンバーの均圧システムが見えるようにします。
均圧バルブを緩めてボタンを押し、エアをネガティブ側エアチャンバーに送ります。均圧ボタンを介してネガティブ側エアチャンバーにエアを送ることで、ポジティブ側エアチャンバーの全体のエア圧が下がります。





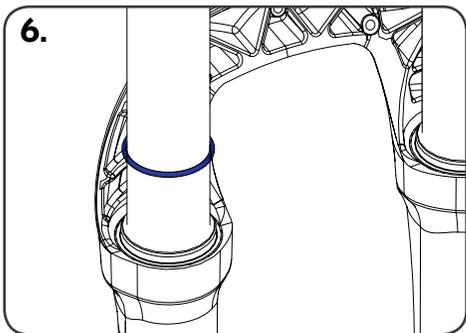
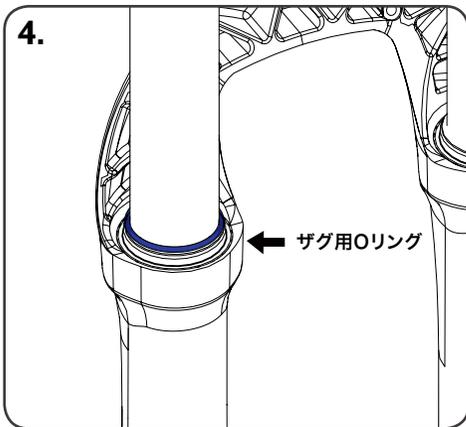
▲ 警告

このフォークは、ネガティブ側の均圧ボタンを押している間に下向きの荷重を掛けると、より多くのエアがポジティブ側からネガティブ側エアチャンバーへと移動するため、フォークトラベルが短くなることがあります。この現象が発生したら、ネガティブ側エアチャンバーの均圧ボタンを押し、トラベルが元の長さとなるまでフォークのアップパーを引き上げてください。

4. 図の通りに、サグ用Oリングがフォークのダストシールに当たるまで移動させてください。

5. ライドギアをすべて装備し、通常の下りポジションで自転車に乗り、フォークを3-5回沈ませます。次に、サグが出ている状態で、サグ用Oリングがダストシールに当たるまで移動させます。

6. 自転車から降り、サグ用Oリングの移動量(Oリングとダストシール間の距離)を測定します。サグ値はトラベル全長の約15-25%となるはずですが、ダンパーのコンプレッションを開放に設定し、この作業がダンパーに影響を受けないようにしましょう。



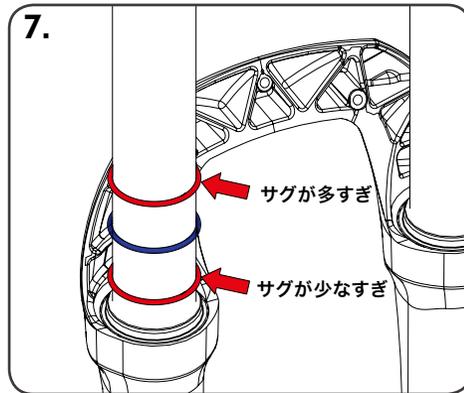
4. サグが少なすぎる場合：エアバルブからエアを抜き、ネガティブ側エアチャンバーの圧力を均等にしてください。サグが多すぎる場合：エアを充填し、ネガティブ側エアチャンバーの圧力を均等にしてください。

サグの推奨値やトラブルに関しては、Cane Creek Cycling Components お客様相談室 (1-800-234-2725) までお電話ください。

推奨エア圧

Helm フォークは、エア圧 (psi) が体重 (ポンド) の半分の値と同じになるまで充填することを推奨します。例えば、体重が150ポンドであれば、75psiを充填し、そこから必要に応じて調整していきます。

トラベル長の違い、エアボリュームの量、ライダーの乗車位置により、エア圧は変わります。このガイドは、初期設定のための推奨エア圧のみを記載し、最終的なエア圧を決定するものではありません。



エアスプリングの設定

サグ値を正しく設定できても、フォークトラベルを使い切ってしまう場合は、エアボリュームを減らしましょう。Cane Creekのエアボリューム調整システムは、部品を追加することなく理想的な「ボトムアウトを感じさせない」乗り味を実現できます。

このシステムは、溝付きのロッドに取り付けられた静的ピストンを備えています。このピストンをロッド下側に移動させると、ポジティブ側エアチャンバーのボリュームが減り、エアスプリングのレートが上がります。スプリングレートが上がると、よりプログレッシブになります。

必要な工具:

- 30mm レンチ
- ショックポンプ

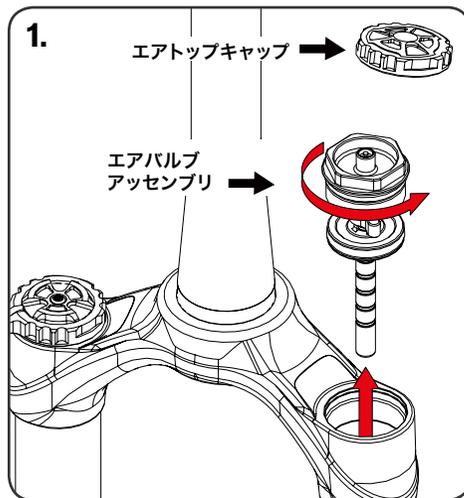
1. ⚠警告

エアスプリングを設定する時は、ポジティブとネガティブ側エアチャンバーの両方からすべてのエアを必ず抜いてください。

2. 左側レッグのエアトップキャップを取り外し、フォーク上部からエアを抜きます。

⚠警告

次の作業に移る前に、すべてのエアを必ず抜いてください。30mmのレンチでエアバルブアセンブリを反時計回りに緩めます。

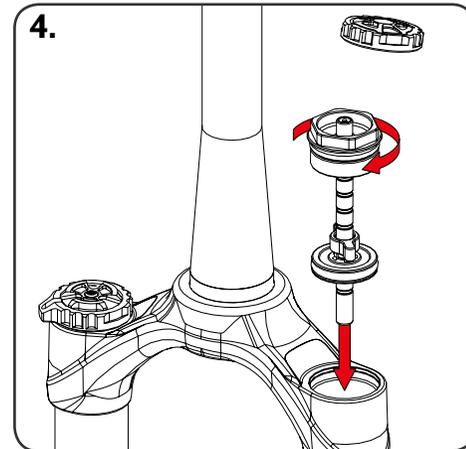
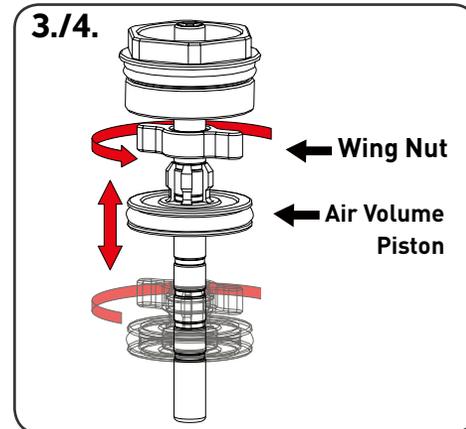


エアスプリングの設定

3. エアバルブアセンブリを取り外し、エアボリュームピストンの羽根つきナットを緩めてください。

4. エアボリュームピストンを好みの位置に移動させ、エアボリュームピストンの羽根つきナットを再度締め付けてください。

5. エアバルブアセンブリを36Nmで再度締め付け、サグを設定してください。





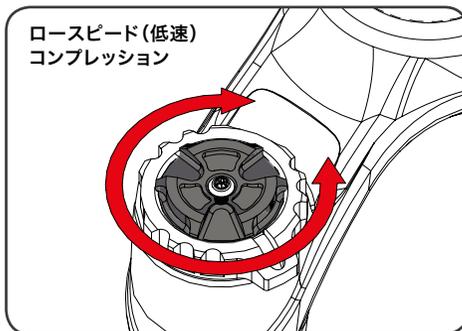
コンプレッションダンピング

コンプレッションダンピングは、フォークが衝撃を受けた時の沈み込みやすさを調整します。

ロースピード(低速)コンプレッション:

トラクションやバイクの安定性を制御します。LSCを調整することで、ペダリングによる『ポップ(沈み込み)』がなくなり、細かな凹凸の感度が変わり、ブレーキングのおじぎが減り、体重移動によるバイクの挙動変化を調整できます。

右側レッグ上部の中央にある**Low Speed Compression**と書かれたアジャスターを回して調整します。時計回りに回すと減衰が強くなり、反時計回りに回すと減衰は弱くなります。

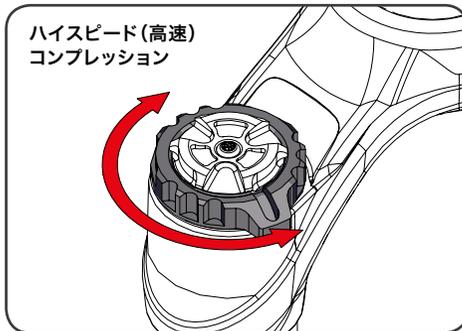


ロースピード(低速)
コンプレッション

ハイスピード(高速)コンプレッション:

鋭い衝突や激しい着地などの大きな衝撃を吸収するのに用いられます。また、ポトムアウトしないようにするためにも用いられます。

右側レッグ上部の外側にある**High Speed Compression**と書かれたアジャスターを回して調整します。時計回りに回すと減衰が強くなり、反時計回りに回すと減衰は弱くなります。

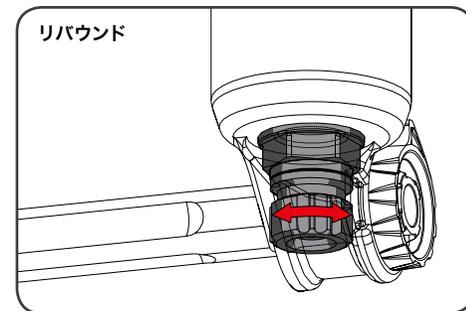


ハイスピード(高速)
コンプレッション

リバウンドダンピン

リバウンドダンピングは、フォークが衝撃を受けてから元のトラベル長に戻るまでの速さを調整します。右側レッグ底部にある**Rebound**と書かれたアジャスターを回して調整します。

時計回りに回すと減衰が強くなり、反時計回りに回すと減衰は弱くなります。



リバウンド



Cane Creek Helm フォークのトラベルは、工場出荷時の状態ですが、お好みにより10mm刻みでフォーク内部で変更できます。トラベルレデュサーは2個付属します。

必要な工具

- 13mm レンチ
- 18mm レンチ
- 22mm レンチ
- トラベルレデュサー

▲ 警告

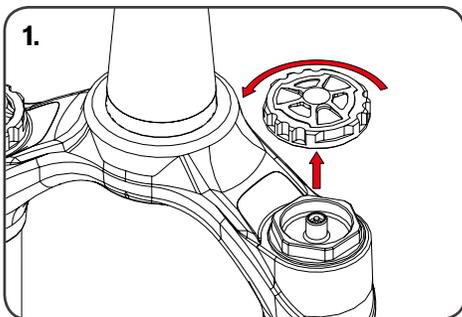
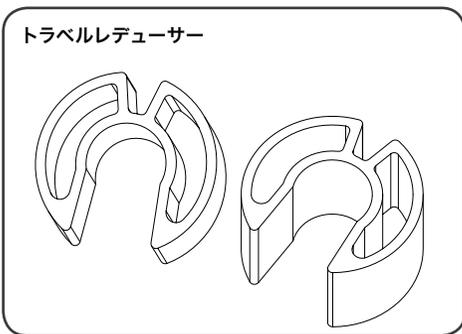
トラベル調整を行う前に、すべての手順を読んでください。以下の手順にしっかりと従い、不適切な組み立て、保証対象外となる事項、あるいは重大な怪我を防ぎましょう。

この作業に自信がない場合は、プロメカニックまたはCane Creek 認定サービスセンターにご相談ください。

*各手順ごとの詳細なビデオは、こちらでご覧いただけます。

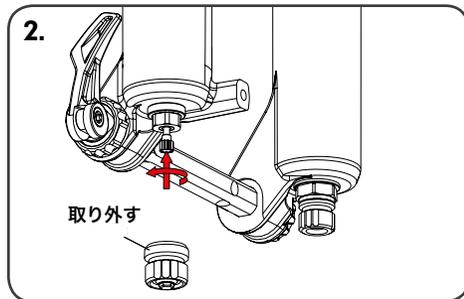
[http:// www.canecreek.com/tech-center/suspension/service-videos](http://www.canecreek.com/tech-center/suspension/service-videos)

1. エアキャップをフォーク上部から、均圧ボタンのキャップをフォーク底部から取り外し、均圧ボタンを緩めます。

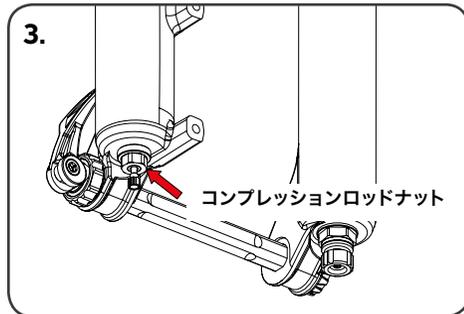


2. 均圧ボタンを押しながら、フォーク上部からエアを抜きます。

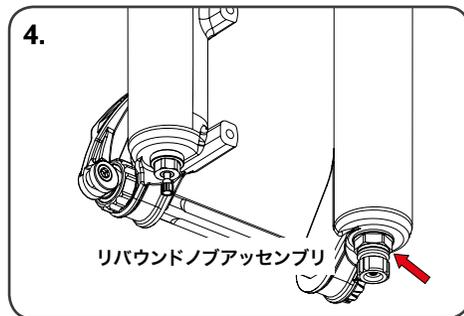
* フォーク上部のポジティブ側エアチャンバーからエアを抜きながら、均圧ボタンを押し、ポジティブとネガティブ側エアチャンバーの両方からすべてのエアを必ず抜いてください。



3. 13mmのレンチで左側レッグ底部のコンプレッションロッドナットを緩めてください。完全に緩めきってはいけません。

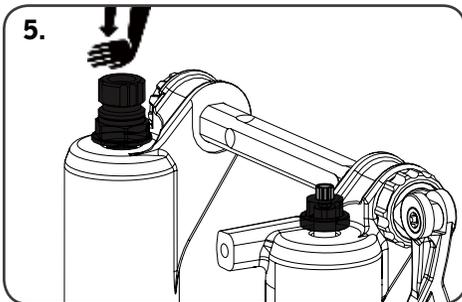


4. 18mmのレンチで右側レッグ底部のリバウンドノブアセンブリを緩めてください。リバウンド調整ノブは18mmのリバウンドノブアセンブリとつながっており、この手順の間にアセンブリごと取り外します。完全に緩めきってはいけません。

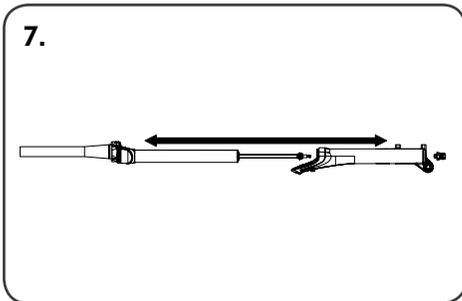




5. コンプレッションロッドナットとリバウンドノブアセンブリを軽く手で叩いて、両ローレグのシールを外します。ここで、コンプレッションロッドナットとリバウンドノブアセンブリを完全に緩めてフォークから取り外してください。

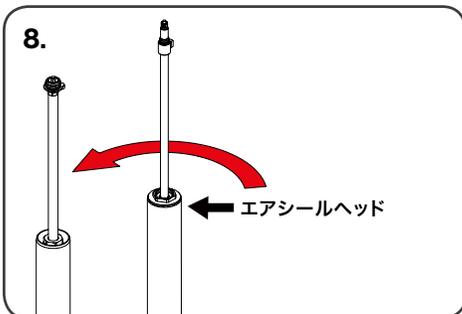


6. フォークを下向きに保護材の上に寝かせます。

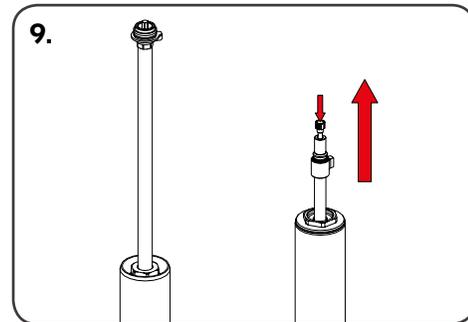


7. ローレグとアッパーレグをそれぞれつかみ、分離させてください。*ローレグを寝かせて置き、オイルが流出しないようにしてください（オイルが過剰に流出した場合は、オイルの規定量をサービスマニュアルで確認してください）。

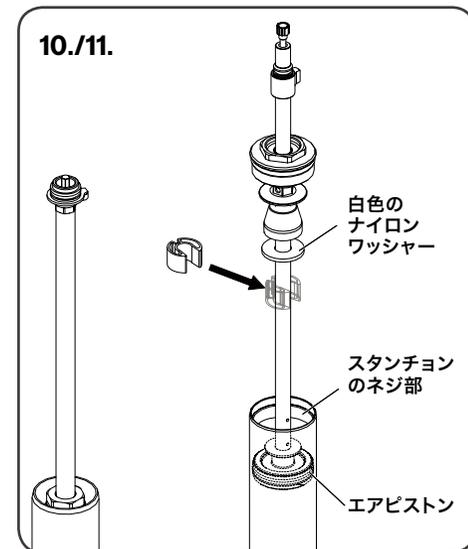
8. 分離したアッパーレグを、レグ側を上に向けてバイクスタンドに取り付けてください。22mmのレンチで左側レグのエアシールヘッドを緩めてください。



9. エアシールヘッドを引き上げ、コンプレッションロッドアセンブリが見えるようにしてください。エアピストンがアッパーレグのネジ部よりも外に出るまで引っ張らないようにしてください。エアピストンをネジ部より外に出してしまうと、エアピストンのOリングが損傷します。



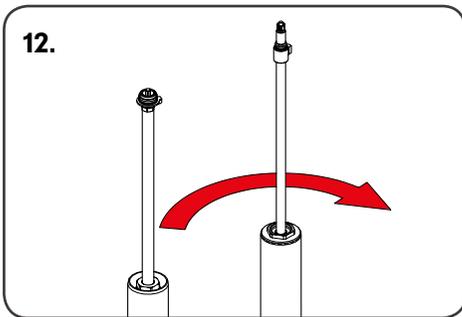
10. ボトムアウトバンパーをエアシールヘッド側に引っ張り、ナイロンワッシャーが見えるようにしてください。



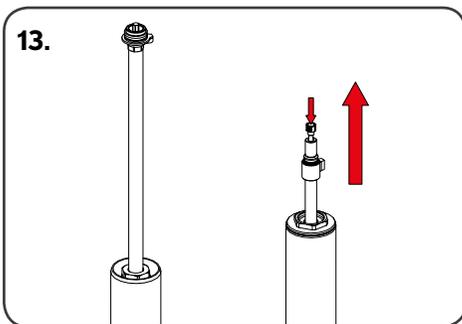
11. トラベルレデューサーをコンプレッションロッドのナイロンワッシャーとエアピストンの間に取り付けてください。



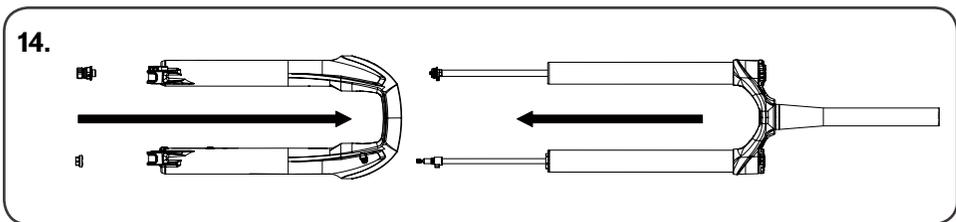
12. 22mmのレンチでエアシールヘッドを再度取り付けてください。
規定トルク値は16Nmです。
締め過ぎに注意してください。



13. 均圧ボタンを押し、コンプレッションロッドの半分が見えるまで引っ張ってください。



14. ロワーレッグをフォークに再度取り付け、コンプレッションロッドとダンパーロッドをローワーレッグの穴に通してください。ナットには青のロックタイト(緩み防止剤)を使用してください。
18mmのレンチを用いてリバウンドノブアッセンブリを5Nmで締め付けてください。
13mmのレンチを用いてコンプレッションロッドナットを5Nmで締め付けてください。



	ライドごと	50時間ごと	100時間ごと
サグとフォークの動作を確認。 両チャンバーのエア圧をリセット。	5ライドごと		
Oリングを含む、フォーク外側の清掃と点検。 清掃には中性洗剤を使うこと。	X		
スタンションに傷や凹みなどの損傷がないか点検。	X		
エア充填時に異物が混入しないよう、エアバルブのネジ部を清掃と点検。	X		
ヘッドセットのプリロード、ブレーキキャリパーとアクスルの固定の点検。	5ライドごと		
ローワーレッグを外して ブッシュとシールを清掃と点検し、 オイルを交換。		X	
Cane Creek 認定サービスセンターにてエアスプリングとダンパーのオーバーホール。			X

この推奨の整備頻度に従い、フォークを最適な状態に保ちましょう。



サスペンション製品にかかる 1年間の限定保証

制限や条件に従い、Cane Creekは、最初に小売店で新品のCane Creek サスペンション製品を購入した方に対し、Cane Creek サスペンション製品に材料や製造上の欠陥がないことを保証します。この保証は、法律によって定められている場合を除き、Cane Creek 正規販売店、または購入した自転車に最初から付属する場合を含め、Cane Creekの認定製造元からCane Creek サスペンション製品を購入した日から1年間有効です。

保証の諸条件

この保証は、通常の条件下で使用され、Cane Creekが規定する通りに正しく整備されたCane Creek サスペンション製品を条件としています。この保証は、Cane Creek正規販売店からCane Creekサスペンションを最初に新品で購入された方へのみを対象とし、その後の所有者には適用されません。

この保証は、Cane Creek サスペンション製品が酷使、放置、不適切または不認可の修理、不適切または不認可のサービスや整備、変更、改造、事故またはその他の通常でない、過度の、または不適切な使用をされた場合に無効となります。Cane Creekの単独の裁量により、Cane Creekのサス

ペンション製品がこの保証の対象であることが判明した場合、Cane Creekの唯一の選択肢として、同等のモデルで修理または交換されます。

これは、この保証に基づく排他的な救済措置です。偶発的または必然的な損害または懲罰的損害を含むがこれに限定されず、さもなければ適用可能なすべての他の救済策および損害は、除外されます。

この限定保証は、通常の磨耗、不具合、または酷使、不適切な組み立て、放置、変更、不適切なメンテナンス、転倒、誤用、または衝突により生じた故障には適用されません。



この保証の条件に従えば、漏れが生じているシールは、購入日から90日以内に交換されます。そのような交換にもかかわらず、シールは部品間の相対的な移動を条件とし、通常の消耗品であり、保証の対象外となります。この限定保証は、消費者固有の法的権利を与えます。消費者は、州または国ごとに異なる他の法的権利を有することもあります。一部の州や国では、偶発的または間接的な損害または保証の除外または制限を認めないため、上記の制限または除外が適用されない場合があります。管轄裁判所により、この限定保証の特定の条項が適用されないと判断された場合、そのような決定は、この限定保証の他の条項に影響を及ぼさず、その他の条項はすべて有効となります。

これは、サスペンション製品およびコンポーネントに関するCane Creekにより定められた唯一の保証であり、ここに記載されている内容を越えて保証されるものではありません。商品性または特定目的への適合性の黙示の保証を含むがこれに限定されず、さもなければ法律によって黙示されるすべての保証は、除外されます。